

令和8年度通常総会開催 首藤新会長が誕生

令和8年度
一般社団法人さいたま市建設業協会 通常総会



首藤新会長が議事を進行



斎藤前会長に慰労金

令和8年度通常総会が6月2日午前10時30分から、ロイヤルパインズホテル浦和で開催された。76名が出席、委任状は98通を集め、合計174名の参加者により、総会は成立となった。新役員の選任で、首藤和彦氏（前副会長、八生建設）を新会長に選出した。首藤新会長は、「斎藤前会長には、大変長い間さいたま市建設業協会の代表を務めていただき感謝する。役員の方々、会員の皆さんのお力をいただきながら、協会をまとめていきたい。かじ取りの難しい時代だが、各委員会で意見を出してもらい、それを調整した上で市に要望し対応してもらうことなどで、より良い方向に進めていきたい」と挨拶し、決意を表した。

総会冒頭の挨拶で、斎藤会長（開会時）は、「暑くなっており、熱中症には十分注意し、現場で事故が起きないようにしてもらいたい。株価は上がっているが、景気の実感はない。中東情勢の悪化による原油不足もあり、資材不足や高騰が懸念される。建設業の倒産も増加傾向だ。私は、会長を9期・18年続けてきたが、この総会をもって、首藤副会長に会長を任せたい。新会長を盛り立てて、難局に対応してほしい」と語った。

総会では、斎藤会長を議長に議事に入り、「議案第1号・令和7年度事業報告及び収支決算の承認について」を事務局が説明、沼尾監事から監査報告があり承認となった。「議案第2号・理事及び監事の選任について」では、議案書に示された案を、出席者が承認した。その後、斎藤会長が議長交代を宣言し、首藤氏を新議長に指名。首藤議長は、会長、副会長等の互選を行うため、新役員の案を配布し、出席者が新役員等の就任を承認。退任役員と新任理事、新正副会長、新ブロック長、特別相談役が紹介され、各氏が挨拶した。斎藤前会長は特別相談役に就任した。

《1面からの続き》

報告事項では、「報告第1号・令和8年度事業計画及び予算について」を報告。「報告第2号・委員会正・副委員長について」では、新委員長・新副委員長を報告。「報告第3号新入会員の紹介」では、新規正会員2社、新賛助会員1社を報告した。

総務企画委員会の丸山副委員長のリードで倫理憲章を朗読し、閉会した。

◆退任役員(理事・敬称略)



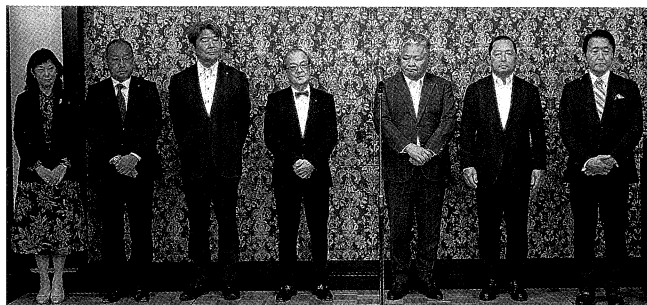
▷岩浪郁雄
(和光建設)
▷大原喜四郎
(新研設備工業)
▷新井清太
(シエイ)

◆令和8年度新任役員(理事・敬称略)



▷積田優
(積田電業社)
▷大澤一郎
(富士管工)
▷大原佑喜
(新研設備工業)
▷添田寛
(和光建設)
▷斎藤悠美子
(斎藤工業)

◆令和8年度正副会長・特別相談役・ブロック長(敬称略)



正副会長等が壇上に(三浦ブロック長は当日欠席)

▷会長(新)-首藤和彦(八生建設)▷副会長(新)-関根信次(ユーディケー)▷副会長-松永大祐(松永建設)▷特別相談役(新)-斎藤恵介(斎藤工業)▷浦和ブロック長(新)-北清太郎(シン建工業)▷大宮ブロック長-荒川和義(斎藤建設工業)▷与野ブロック長-宇津城美奈子▷岩槻ブロック長-三浦英明(三浦建設工業)

◆令和8年度委員長(敬称略)



委員長が壇上に(松永建築委員長は当日欠席)

▷総務企画(新)-安藤正浩(佐伯工務店)▷社会貢献-阿久津洋和(阿久津建設)▷環境問題(新)-吉村祐起子(吾妻工業)▷土木-富田俊介(とだか建設)▷建築-松永満(不動開発)▷電気-積田優(積田電業社)▷設備(新)-積田鉄也▷造園-岡田清(春秋園)

◆新入会員(敬称略)

【正会員】▷ルドルフ建設(大宮ブロック、廣瀬幸生代表、令和7年9月12日届出)▷清水興業(大宮ブロック、清水淳一代表、令和7年10月1日届出)

【賛助会員】▷埼玉測機社(門脇淳代表、令和7年10月30日届出)

■議事

◇令和7年度事業報告及び収支決算の承認について

通常総会、理事会、正副会長・ブロック長会議、委員長連絡会議、各委員会会議・活動、さいたま市長、市議会・各会派への要望、市との各種意見交換会、勉強会の開催、不法投棄パトロール、クリーン活動、賀詞交歓会などの活動を報告。収支決算では、収入合計が3344万0326円(予算に対して24万0326円増)、支出合計が2540万1167円、次期繰越金803万9153円となることなどを説明。監査結果で収支計算書が適正であることが報告。承認された。

◇理事及び監事の選任について

理事34名(正副会長・ブロック長7名)、監事3名の案を示し承認された。

■報告

◇令和8年度事業計画及び収支予算について

予算は、収入合計、支出合計とも3760万円。ともに前期比440万円増。収入のうち803万円は前期繰越金。新規入会は正会員3社を見込む。入会後の正会員は174社、賛助会員は4社を予定し、会費合計は前期比131万円増。収入で主な前期比増は前期繰越金など。支出で主な前期比減は委員会会議費等など。

令和8年度事業計画は次のとおり。

1.経営基盤の強化

・時代とともに変化する、社会の要請を的確に捉え、自律性、創造性を向上させ、地域社会の期待に応える企業を目指す。

・「労働災害防止」を最優先に、常に環境保全を心掛けると共に、地域住民への配慮に努める。

・諸法令の遵守、企業倫理憲章を基本とし会員の資質の向上とイメージアップに努める。

2.各種委員会活動

・各委員会を中心に、それぞれの専門分野で、必要性のある活動を推進する。

・建設業協会を取り巻く諸問題に対して積極的に対応して、協会の基盤強化を図る。

3.要望活動

・安定的な経営に向け、積極的に行政機関へ要望・提言し、地域建設業の振興と地域社会の発展に寄与する。

4.大規模災害への取り組み強化

・災害時における、動員体制、活動について本会会員への周知に努める。

・災害時における被害の拡大防止及び被災施設の早期復旧に努める。

5.関係諸団体に対する協力

・公益性のある諸事業に対し、積極的に協賛及び参加等を行う。

6.その他、本会の目的達成のため必要な事業を行う。

◇委員会正・副委員長について

8委員会の委員長8名、副委員長13名を報告した。総務企画、環境問題、設備の各委員長が交代した。

◇新入会員の紹介

令和7年度に承認された新入会員（賛助会員）として、3社を紹介した。



倫理憲章を朗読

令和8年度 第1回・2回理事会



令和8年度第1回の理事会が4月22日午前10時30分から、ロイヤルパインズホテル浦和で開かれた。議事は、令和7年度事業報告及び収支決算について、理事及び監事の選任について、令和8年度事業計画及び収支予算(案)について、委員会正・副委員長(案)の選任について。報告は、退会会員について、令和8年度さいたま市総合防災訓練について、各ブロック・委員会活動について。

委員会は、正・副委員長の新任で、安藤正浩総務企画委員長、吉村祐起子環境問題委員長、積田鉄也設備委員長、大澤一郎同副委員長、大原佑喜同副委員長が承認されたため、総会で報告する。



令和8年度第2回の理事会が7月6日午前11時から、ロイヤルパインズホテル浦和で開かれた。議事は、令和8年度市長要望について。3項目で10の要望を承認した。報告は、令和8年度さいたま市総合防災訓練について、建設キャリアアップシステム(CCUS)研修会について、南区ふるさとふれあいフェアへの参加について、退会会員について、各ブロック・委員会活動について。

退会会員は、大明建設(株)(久保田充代表6月17日付)。10月3日のふれあいフェアでは、展示ブースで工事現場の体験などを行う。

令和8年度 第1回委員長連絡会議 市長要望を協議



令和8年度第1回委員長連絡会議が5月15日午前10時30分から建産連会館特別会議室で開催され、今年度のさいたま市長への要望項目などを協議した。冒頭、斎藤会長は、「市長要望は項目を絞り、積極的に効果的な提案をしたい。市との良い関係を継続し、協会の意見を反映させたい」とした。

会議では、北総務企画委員長が進行役となった。まず、「建設資材供給不安に伴う工期延長及び物価スライドの簡素化に関する要望活動について」を報告。4月28日にさいたま市建設局長を訪問し、受注者の責によらない工期延長を柔軟に認定すること、適切な設計変更、物価スライドの簡素化・柔軟化などを求めた。

「令和8年度さいたま市長への要望について」の協議では、7年度の要望内容と市の対応を事務局が説明。8年度の要望について、各委員からの意見を聞いた。土木委員会は、「実績等を重点的に評価した総合評価方式の拡充をメーンの要望としたい」。建築委員会からは、「建築工事におけるASP(情報共有システム)義務付け発注は、ぜひ要望したい」などの意見が挙がった。

協会日誌（令和8年 3月～8月）

3月9日ー第5回土木委員会（建産連研修センター） 12日ー第2回社会貢献委員会（建産連研修C） 14日ー緑区見沼田んぼキレイきれい大作戦（見沼臨時グランド周辺） 16日ー第3回環境問題委員会（建産連研修C） 第2回造園委員会（建産連研修C） 19日ー第3回建築委員会（建産連研修C） 23日ー第2回電気委員会（建産連研修C） 24日ー第2回設備委員会（埼玉空衛会館）
4月3日ー令和7年度会計監査（建産連会館）

8日ー第1回総務企画委員会（建産連研修C）

17日ー第1回正副会長・ブロック長会議（ロイヤルパインズホテル浦和） 22日ー第1回理事会（ロイヤルパインズ） 23日ー土木委員会懇親会（木曽路大宮店） 28日ー建設資材供給不安に伴う

工期延長及び物価スライドの簡素化に関する緊急要望（さいたま市役所）

5月13日ー設備委員会懇親会（彩懷石うらわ高砂） 15日ー第1回委員長連絡会議（建産連会館）

6月2日ー令和8年度通常総会（ロイヤルパインズ）

7月2日ー第2回正副会長・ブロック長会議（ロイヤルパインズ）

建築委員会懇親会（うなぎ満寿屋） 6日ー第2回理事会（ロイヤルパインズ）

21日ー第1回土木委員会（建産連研修C） 24日ー電気委員会懇親会（彩懷石うらわ高砂）

28日ー第1回社会貢献委員会委員会（建産連会館） 30日ー第1回環境問題委員会委員会（建産連会館）

31日ーさいたま市長への要望活動 さいたま市議会議長への要望活動（さいたま市役所）

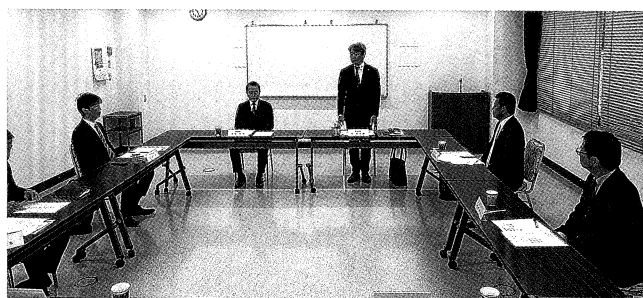
8月4日ー公明党さいたま市議団主催の意見交換会（さいたま市役所）

6日ー建設キャリアアップシステム（CCUS）研修会（オンライン） 19日ー自民党さいたま市議会議員団令和9年度予算要望及び意見交換会（さいたま市役所）

25日ー見沼区不法投棄防止対策協議会（見沼区役所） 31日ー「建協だより70号」編集会議（建産連会館）

各委員会（令和8年3月～8月）

総務企画委員会（北委員長→安藤委員長）



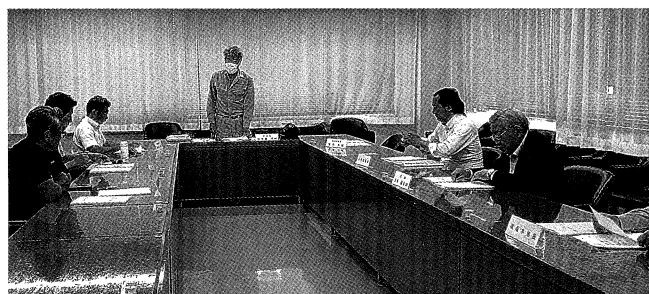
令和8年度第1回委員会が、4月8日午前10時30分から建産連研修センター103会議室で開催された。令和8年度通常総会に向けて、8年度予算案などを協議した。冒頭、北委員長は、「委員会としては、地域、会員へのサービス強化に向けて、8年度の活動を考えてもらいたい。」

新しい方がリーダーシップを取り、盛り上げてもらいたい」と挨拶した。

まず、令和8年度の委員会の構成について協議。北委員長が退任し、安藤正浩氏(佐伯工務店)が新たな委員長に就任、他の委員は留任とする案が了承された。理事会に諮る。令和7年度決算・令和8年度予算案については事務局が案を説明し、理事会、総会に諮ることに承認を得た。委員からは、「委員会活動の活性化が必要」との認識で一致した。

協会各委員会の正・副会長については、総務企画委員会以外で、環境委員会の委員長に吉村祐起子氏(吾妻工業)が就任、設備委員会の委員長に積田鉄也氏(積田冷熱工事)、副委員長に大澤一郎氏(富士管工)と大原佑喜氏(新研設備工業)が就くことが報告された。

社会貢献委員会(阿久津委員長)



令和7年度第2回委員会が、令和8年3月12日午前11時から建産連研修センター103会議室で開催され、令和7年10月27日に実施した大規模災害応急対策マニュアルに基づく机上訓練の成果を確認した。総意としては、継続して実施することの重要性、まずマニュアルを見てもらうこと、ボランティアの活動で可能なことは限定的であることを確認した。

今回の意見を踏まえて、8年度のマニュアル改訂に活かすほか、地震以外の災害への対応、次回の机上訓練の対象区の選定、ホームページでの発信方法などを検討していく。

令和8年度第1回委員会が、7月28日午前11時から建産連会館特別会議室で開催された。大規模災害応急対策マニュアルに基づく机上訓練などを協議した。

まず、令和8年度さいたま市総合防災訓練について報告。11月23日9時30分から大宮消防署訓練場で実施。協会内の担当は、大宮ブロック。道路啓開訓練(瓦礫や倒木などの障害物除去)を担当する。10月16日の事前説明会への参加を要請した。

机上訓練は、10月26日午前9時30分から実施する。訓練参加者は、災害対策本部長(会長)、災害対策室長(社会貢献委員長)、災害対策副室長(社会貢献副委員長)、浦和・大宮ブロック長、パトロール担当会社(7社)とする。事前説明会を9月11日に実施するので、訓練参加者の出席を依頼した。

環境問題委員会(岩浪委員長→吉村委員長)



令和7年度第3回委員会が、令和8年3月16日午前11時から建産連研修センター103会議室で開催された。令和8年度委員会構成、次回の見学会などを協議した。

まず、令和8年度の委員会構成を協議。岩浪委員長が退任し、次期委員長に吉村祐起子委員(吾妻工業)が就任することが承認された。また、新委員に半田謙介氏(スミダ工業)が加わる予定となった。

令和8年度の見学会としては、幸手市で完成した大成建設の次世代研究所・幸手ゼロカーボンビル(ZCB)を対象とすることで合意した。開催(建築委員会と合同)の具体化を図る。

令和8年度第1回委員会が、7月30日午前11時から建産連会館特別会議室で開催された。さいたま市環境部門との連携した活動などを協議した。冒頭、吉村委員長は、「熊本地震の発生に心を痛める。委員長に就任し、新たな取組として市の環境部門との連携を図りたい」と挨拶した。関根担当副委員長は、「新たに担当を任された。一から勉強して委員会に貢献したい」と挨拶した。また、新委員を紹介した。

さいたま市環境部門との連携については、不良な解体業者の通報への協力要請に対して、協力を仮定して、通報のガイドライン、ポスターなどを作成し、市と協議協議した後、委員会に示すこととした。また、市が実施している断熱教室ワークショップ、断熱DIYの取組を紹介。市からアドバイスを求められているため、委員の意見を聞いた。

令和8年度の見学会としては、ZCBへの実施にめどがついていないことから、委員の意見を求めたところ、三

芳町の石坂産業の産業廃棄物リサイクル・資源再生工場およびサステナブルフィールドへの見学の提案があり、委員会活動の趣旨に沿っているとして具体化を図ることとした。

土木委員会(富田委員長)



令和7年度第5回委員会が、令和8年3月9日午前10時から建産連研修センター200会議室で開催された。さいたま市との意見交換会の結果を報告。協会からさいたま市へのアンケートの内容を協議した。

まず、情報共有システム(ASP)等の勉強会について協議。今回計画するのは、ASPの導入を開始した企業に向けて、有効な活用方法やシステム改善の内容などを説明するもの。併せて、建設キャリアアップシステム(CCUS)の説明も行う予定。

さいたま市との土木部門の意見交換会は、7年12月18日に開催した。今回、意見交換会でのやりとりをまとめ、委員に示した。当日の発言者などに感想を聞いたところ、「その場で解決しない問題が多く、引き続き要望・話し合いしていくことが必要」「現状を知っていて、知らないふりをしている気もする」「2次製品の使用は強く要望していくべき」「現場に見合った歩掛が必要」「住民クレームに業者が対応するのは、必ずしも良くない」などの意見が挙がった。今回の取りまとめについて、概ねの同意が得られたため、土木会員全体に発信する予定だ。

市へのアンケートは、令和8年度の意見交換会や市長要望などに向けて、実情を把握し、課題を抽出するために実施を予定するもの。対象は、市の主任～課長補佐級とする見通し。

質問項目について委員の意見を求めたところ、「土木工事書類スリム化ガイドへの理解度・活用状況」「設計照査はどこまで施工者が行うべきか」「小規模施工の見積り」「検査までの適切な期間」「単価契約での評価導入」「設計変更(2次製品を含めて)」「検査の電子化」「工事中止の考え方」について、市側の担当クラスの意見を聞きたいという声が挙がった。今秋のアンケート実施

をめどに、さらに質問内容などを詰めていく。

令和8年度第1回委員会が、7月22日午前10時から建産連研修センター200会議室で開催された。

今回の委員会では、提案議題のテーマを、①施工管理の効率化②円滑な現場運営③Aクラス以下の課題④その他、に絞り込んで委員の意見を聞いた。今回の協議を端緒として、今後、提案議題をブラッシュアップしていく。

また、建設キャリアアップシステム(CCUS)の研修会を8月6日午後1時からオンライン配信することを報告。建設業振興基金の担当者が講師となり、CCUSの概要、能力評価制度などを解説する。このほか、南区ふるさとふれあいフェアへの参加を報告した。

建築委員会(松永委員長)



令和7年度第3回委員会が、3月19日午前11時から建産連研修センター103会議室で開催された。1月22日に開催したさいたま市との意見交換会(建築・電気・設備合同)の結果を説明し、意見を求めた。

「建築はASPに後ろ向きの気がする」「県では実施しているのだから、市側も積極的な姿勢を見せてほしい」「担当者レベルではなく、上の部所から降りてくるような働き掛けも必要」などの声が挙がった。「電子契約を確実に進めてもらいたい」との要望もあった。

8年度の建築委員会構成では、佐伯工務店(安藤正浩代表)を加えることを提案し、同意を得た。また、建築委員会としての視察研修会を検討することとした。

電気委員会(積田委員長)



令和7年度第2回委員会が、3月23日午前11時から建

産連研修センター103会議室で開催された。さいたま市との意見交換会（建築・電気・設備合同）の結果を説明し、意見を求めた。

「設計監理を設計者ができないのなら、施工側で時間と費用をもらった方が図面不備の改善になる」「建築部門のASPが進まないのはなぜか」などの声が挙がった。

積田委員長は、「建築・電気・設備の同時入札で建築が不調になった時、電気の入札結果を保持する権利を得たい。来年度も継続して協議したい」とした。また、電気会員の懇親会を開催することに合意した。

設備委員会(大原委員長→積田委員長)



令和7年度第2回委員会が、令和8年3月24日午後2時から埼玉空衛会館会議室で開催された。令和7年度のさいたま市との意見交換会（建築・電気・設備合同）の結果を報告した。

意見交換会の結果報告でASPの利活用について、設備課から前向きな回答があったことから、各社においてもASPを積極的に利用したいとの意見があった。

令和8年度の委員会構成については、新たに積田鉄也氏（積田冷熱工事）を設備委員長に、大澤一郎氏（富士管工）と大原佑喜氏（新研設備工業）の2名を設備副委員長に選任することとなった。

造園委員会(岡田委員長)



令和7年度第2回委員会が、3月16日午後2時から産連研修センター103会議室で開催され、今後の活動や令和8年度の委員会構成を協議した。

今後の活動として、委員から、「造園委員会としての

活動が少ない。市との意見交換会を具体化してもらいたい」と意見した。このため、協議の結果、委員へのアンケートを実施し、課題を明確にしたうえで、どこの部所と意見交換するのが効果的かなどを判断する。

委員会構成は、正・副委員長、委員を留任とすることで合意した。委員からは、「これまで通りを当たり前とせず、危機感を感じて委員会を活性化してもらいたい」との声があった。

工期延長、スライド簡素化を要望 建設資材供給不安で

当協会は、4月28日午後2時にさいたま市建設局長室



で、「建設資材供給不安に伴う工期延長及び物価スライドの簡素化に関する要望活動」を行った。協会からは斎藤会長、首藤

副会長、北総務企画委員長が出席。さいたま市側は斉藤建設局長、磯目建設局理事らが対応した。

要望書では、中東情勢の緊迫化に伴い建設資材が入手困難となり、工事の円滑な遂行に支障をきたしているとして、工期延長に柔軟に認定すること、工事延長に伴う経費増加を適切な設計変更の対象とすること、迅速な変更承認、スライド柔軟化などを要請した。

さいたま市議会 議長・副議長、市議団と懇談



議長・副議長と



(上) 公明党 (下) 自民党

当協会は7月31日の午後にさいたま市役所を訪問し、さいたま市議会の高子景議長、添野ふみ子副議長と懇談。市議会への要望の内容（8面に掲載）を伝えるとともに、地元建設業が抱える課題について、認識を共有した。高子議長は、「地元建設業の発展に寄与したい」と応えた。また、8月4日に公明党さいたま市議団、8月19日に自民党さいたま市議会議員団と懇談した。

さいたま市長・市議会議長へ要望 働き方改革など3項目

要望事項

1.人手不足を踏まえた働き方改革の推進

▷ゼロ債務負担行為の設定額の拡大(22億円→30億円)▷営繕工事におけるASP(情報共有システム)の義務付け発注▷建設DXの確実な実施とスピードアップ化▷(議長要望のみ)業務委託における電子入札の完全実施

2.優良施工業者の育成(幅広い発注方式の導入)

▷物価上昇に見合った公共事業費の実質予算の確保並びに発注件数の確保▷物価上昇に見合った実勢価格・経費を採用した発注▷本市での実績等を重点的に評価した総合評価方式の改定▷資材供給不足・納期遅延による工期延長並びにこれに伴う経費の増額▷物価スライド条項の適用手続きの簡素化▷(議長要望のみ)街路樹管理における街路樹剪定士など有資格者の活用

3.地元企業の受注機会の確保

▷大型工事の分割・工区割りによる地元企業の受注機会の拡大▷市の補助金を使用する施設等の整備や指定管理者の公募において、市内本店の条件を設定・市の補助金等を使用するプロジェクト(PFI・PPPを含む)等に市内本店の条件を設定



さいたま市長に要望



清水市長と懇談



新屋副市長

佐野副市長

当協会は7月31日の午後にさいたま市役所を訪問し、清水市長に対して働き方改革の推進など3項目の要望を行った。首藤会長と関根副会長、松永副会長、斎藤特別相談役、各ブロック長の合計8名の役員が参加。清水市長に要望書を手渡し、各項目について現状を説明するとともに、改善を要望した。清水市長は、「少しでも改善したい」と応えた。また、佐野副市長、新屋副市長とも懇談した。

企業倫理憲章

私たち会員企業は、豊かさが実感できる、全国13番目の「政令指定都市 さいたま市」の創造的な都市基盤整備の担い手であることを誇りとし、積極的に企業倫理や社会的責任を果たしていくことを誓います。

私たち会員企業は

1. 諸法令を遵守し、公正な企業活動と経営に努めます
1. 美しい自然環境との共生、循環型環境社会の構築に努めます
1. 経営者の倫理観として、常に企業活動の説明責任に努めます
1. 優れた技術者集団として、社会的責任を果たすとともに、技術の研鑽に努めます
1. 地域社会の一員として、積極的に社会貢献活動に努めます

